五学年保護者各位　『十三祝い』

令和2年1月26日　開宴

【　駐車場について　】

※　駐車スペースに限りがあります。
うるま市では、現在『てくてく登校』推進中です。
可能な方は、徒歩での参加・ご協力を　お願いします。

〈1〉保護者・駐車スペース（70～80台ほど）

→　※　じゅう列・駐車になります。

① 飼育小屋ヨコ

② 体育館側

③　・スポーツコート　・校舎1、2　の下駄ばき部分　・体育館と校舎1　の間、
・　校舎3　うらの道路部分

《ご協力願い》　正門からの駐車場は、来賓・先生方用です。
※　正門からは、車で入らないよう、ご協力をお願いします。

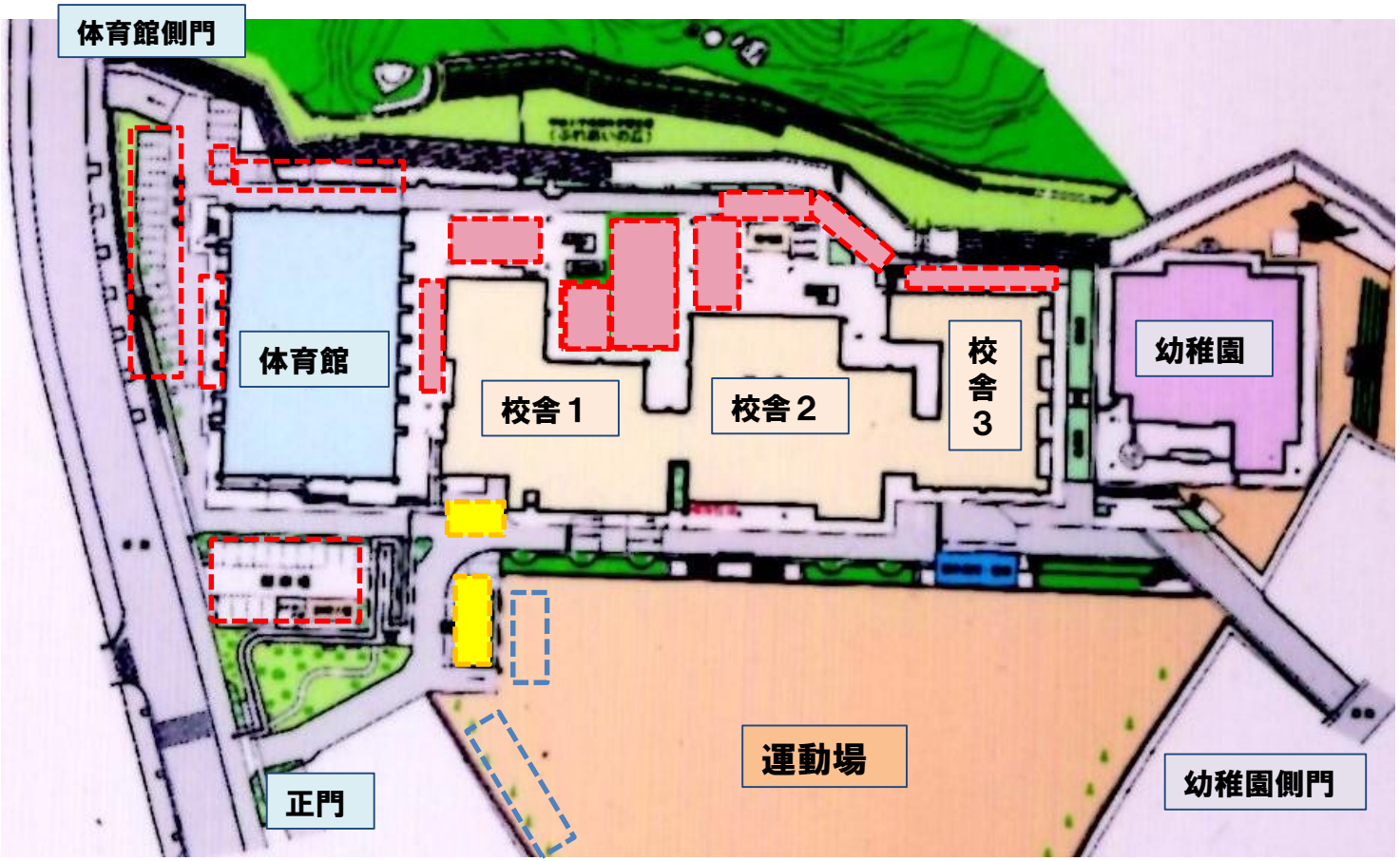
〈2〉来賓・先生方　駐車場

① 正面駐車場

② 給食搬入口前

※運動場は、
使用できません。

不足の際は、状況をみて
の範囲で、部分的に開放
できるかを検討します。
ご了承くださいませ。



＜文責＞　PTCA副会長・健全育成保健体育委員会コーディネーター　花城　国英

～十三祝いの由来について～

＜文責＞ 保体委員会コーディネーター　花城 国英

数え年 （ 生まれた年の 1/1 が 1才 ）のため、 十三祝いという。
「トゥシビー（生年祝い）」のひつ。　旧暦の正月あと、最初の干支の日に行われる。
生まれ時の干支が再び巡ってきた節目を祝い、子ども達の成長を喜ぶ。

昔は、早婚が多く女の子は、生家で迎える 『最初で最後になる』ことが、あたりまえのようでした。
～その思いから親は～
十三祝いを盛大に祝うため 『膳をつくり、晴れ着を着せ』 娘の成長を願ったようです。

十三祝いとは、『～子供から大人へ～』
『 自立の精神を養う由緒ある節目 』 ～古来から伝わる祝い事～
ひとりの人間として、じぶんの判別で責任ある行動を取ってほしい、そんな親からの願いを伝える大切な記念日です。

～沖縄の生年祝い（トゥシビー）～

生まれ年は、12年ごとにめぐり、 数え年で13歳で初めて、{トゥシビーを祝う 十三祝い。}
✿ 以後、25、37、49、61、73、85、97歳 ✿ 計8 回のトゥシビーを祝う。

現在では、無病息災を願って祝う風習として受け止められている。 が・・・

元々は生まれ年は「 厄年：やくどし 」とする考えから、災難を無事に切り抜けられるよう祈願 し、その年は忌み慎むことを心がけたとされている。
その為、この1年間は家の新築や結婚式などの祝い事は、なるだけ避けるように配慮したようです。

〈参考資料〉 沖縄大百科事典、沖縄の生年祝い、沖縄の冠婚葬祭、ヤフー事典、「おきなわ日々記」